

# 「国語」・「算数」・「理科」の力と学習の様子

～『R4 全国学力・学習状況調査』から～

今年度は、国語、算数、理科の調査が行われました。どの教科からも、学校での授業の工夫や家庭での学習の様子がうかがえました。

🌸は良いところ ➡は伸ばしたいところ

## ☆国語について

**学習指導要領の5内容** ※「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」における結果から

🌸「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の内容で全国の平均を上回っています。

### 特に正答率の高かった問題

🌸「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、「話し言葉と書き言葉との違いを理解する」問題では、全国の平均を超える高い正答率でした。同音異義語（同じ音で異なる意味を持つ言葉）を区別し、誤解を招かないようにすることが捉えられています。

🌸「我が国の言語文化に関する事項」において、「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」問題では、県に並び、全国の平均を超える高い正答率でした。読みやすく、整った文章にするために、行の中心に文字の中心をそろえて書く意識が養われています。

### 課題となった問題

➡「書くこと」の領域において、「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」問題に課題があります。自分が書いた目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を具体的に伝え合ったりする活動を継続して行うことが大切です。



## ☆算数について

**学習指導要領の4領域** ※「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」における結果から（「測定」領域の出題はありませんでした）

🌸「数と計算」「図形」「データの活用」の3つの領域で、全国の平均を上回っています。特に、「図形」領域では、県の平均を上回っています。

### 特に正答率の高かった問題

🌸「図形」領域の「長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く」問題がよくできています。長方形の意味や性質、構成の仕方についてよく理解しています。

🌸「数と計算」領域の、「値段を求める際に、その式でよいわけを書く」問題がよくできています。示された場面を解釈し、除法で求める理由を記述できる力が身についています。

🌸「データの活用」領域の「表に入る数を求める式と答えを書く」問題がよくできています。表の意味の理解力、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求める技能が身についています。

### 課題となった問題

➡「変化と関係」領域に課題があります。日常の場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるようにしていくことが大切です。



## ☆理科について



学習指導要領の4領域 ※「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域における結果から

🌀「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全ての領域で、全国の平均を上回っています。

### 特に正答率の高かった問題

🌀「地球」領域の「冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ」問題がよくできています。観察で得た結果を、問題の視点で分析して解釈する力が身についています。

🌀「生命」領域の、「自分の観察記録と新たに追加された他者の観察記録を基に、まとめを見直して書く」問題がよくできています。問題に対するまとめを検討して改善していく考察力が身についています。 また、「見出された問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ」問題がよくできています。提示された記録から得た事実と、そこからわかることを把握し、問題に対する解決の道筋を構想することができます。

### 課題となった問題

➡「エネルギー」領域の「問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く」問題に課題があります。実験結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現する場面を設定していくことが大切です。

➡「粒子」領域の「水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまとめを選ぶ」問題に課題があります。実験で得られた結果を予想と照らし合わせ、考察について検討して改善し、より妥当な考えをつくりだせるようにしていくことが大切です。